



真野和久 議員

佐織・八開地区の水道料金統一は

質問

合併以来、佐織・八開地区の料金統合と八開地区の高い水道利用料の引き下げを求めてきた。3月議会の水道事業会計予算への質問で、「試算を行っている。近い時期に料金改定をお願いすることになる」との答弁があった。

現在、料金改定はどこまで検討されているか。いつ提案されるのか。

上下水道部長

八開地区の料金を佐織地区に統一した場合、2千150万円影響が出る。値上げの時期に

については言えない。

市長

監査委員から早急に統一すべきだと意見をもらっている。ので、統一に向けて準備を進めていきたい。

質問

石綿管工事費補助は、海部南部水道には100%出して、水道には4分の1しか出していない。給水車購入も市の災害対策の中で位置づけるものだ。また、水道所有の井戸は災害用井戸として、市全体にかかわる。

一般会計からの繰り入れを増やすことが必要では。

市長

今後の維持管理などを含め、トータルに判断していか

なければならぬ。

質問

料金統一について、説明会や市民参加の検討委員会などの考えは。

全国でも暑い愛西市の熱中症対策

質問

今年の夏は記録的猛暑で、市でも、熱中症での病院搬送は、8月末で49件。真夏日も全国で21番目という高さになっている。

熱中症予防や対策、対応は。広報紙掲載や防災無線を使ったの広報などの強化は。

市民生活部長

各部署で、それぞれ対象となる市民に対し、集団または個別に啓発、指導している。今後は、広く市民に啓発、周知する観点で、広報やホームページの掲載などを含め、周知方法を検討したい。

総務部長

同報無線を全域に整備を進めており、その他の放送項目も含めてガイドラインを整備していく。

質問

啓発の一方で見守り活動が大事で、一軒一軒見守る観点や、お出かけサロンなどシエルトア(避暑)の啓発をおこなっては。

福祉部長

熱中症だけでなく、ふだんから地域で見守りが構築できないかと考えている。お出かけサロンなどいろいろな方で防止に努めたい。

市長

市民に対する説明会については、料金改定の計画を作成した後、検討していきたい。

救急車で運ばれた熱中症患者数(愛西市)

	20年	21年	22年	23年	24年	25年
6月	0	0	3	9	2	7
7月	16	1	16	9	14	20
8月	7	4	19	5	4	22
9月	0	1	6	5	0	0
合計	23	6	44	28	20	49